

令和5年度中間貯蔵施設整備等影響緩和交付金基金事業状況報告書

(基金の運用実績)

(単位：千円)

事業区分	基金の 保有区分	令和5年度 当初保管額	運用益繰入額	令和5年度 支出済額	令和5年度 年度末保管額	今後の 支出予定額	保有 割合
中間貯蔵施設整備等 影響緩和交付金 基金事業	地方債	10,000,000	0	0	10,000,000	10,000,000	1.0
	定期預金	29,936,148	4,555	1,500,000	28,440,703	28,440,703	1.0
	普通預金(注)	1,560,665	43,057	1,499,524	104,198	104,198	1.0
合計		41,496,813	47,612	2,999,524	38,544,901	38,544,901	1.0

(注) 普通預金の運用益繰入額は、地方債の運用益の振替、及び太陽光設備の売電益によるもの。

- ※ 本表は基金の保有区分ごとに記載すること。
- ※ 基金の保有区分は、実施要領第3の1で定める「基金の運用方法」を参考に記載すること。
- ※ 運用益繰入額は、当該年度に基金の運用によって生じた果実の金額を記載すること。
- ※ 支出済額は、当該年度内に支出負担行為を行い、出納整理期間に支出をしたものを含む。ただし、当該年度に債務負担行為のみを行ったものについては含まない。
- ※ 保有割合は、補助金等の交付により造成した基金等に関する基準（平成18年8月15日閣議決定）に従い算出すること。（通常の出崩し型事業であれば、「平成〇年度末保管額／今後の支出予定額」により算出すること。）

令和 5 年度中間貯蔵施設整備等影響緩和交付金基金事業状況報告書

(基金事業の結果)

事業名	事業 実施 主体	事業経費（千円）						目標	目標 達成度 ・評価	事業結果 (事業の目的・内容・完了期日、 経費の使用方法・内訳を含む。)
		基金充当費		単独経費		合計				
		予算	決算	予算	決算	予算	決算			
大熊町スマートコミュニティ整備事業	大熊町	1,224,302 (補正後) 1,224,303	1,224,303	0	0	1,224,302 (補正後) 1,224,303	1,224,303	中間貯蔵施設の整備等による影響を緩和するため、町内における消費電力の制御のためのスマートコミュニティを整備することで、ゼロカーボンの推進、及び町民の生活空間の維持・向上を図る。	スマートコミュニティの整備に向けた業務を円滑に遂行できていることから、目標を概ね達成したと認められる。	<p>【目的】 大熊町内にスマートコミュニティを整備することで、町内における電力消費量を削減し、ゼロカーボンの推進及び町民の生活空間の維持・向上を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 上記目的を達成するため、令和 4 年度から令和 6 年度にかけて町内にスマートコミュニティを整備する。 (交付要綱第 4 条第 1 項第二号) 生活空間の維持・向上のための事業</p> <p>【完了期日】 令和 6 年 3 月 29 日</p> <p>【経費】 発注者支援業務 21,560 千円 プロジェクトマネジメント業務 21,769 千円</p>

										実施設計業務 71,939 千円 工事 1,051,853 千円 工事監理 57,182 千円
大熊町ゼロ カーボン補 助金事業	大熊町	60,800 (補正後) 28,409	28,409	0	0	60,800 (補正後) 28,409	28,409	中間貯蔵施設の 整備等による影 響を緩和するた め、町内におけ る再生可能エネ ルギーの導入等 の脱炭素社会の 実現に向けた取 り組みに補助金 を交付すること で、ゼロカーボ ンの推進及び町 民の生活空間の 維持・向上を図 る。	18 件の申請 者に対し、円 滑に補助金を 交付し、町内 における省エ ネを推進する ことができた ことから、目 標を概ね達成 したと認めら れる。	【目的】 大熊町内における再生可能エネルギー の導入等の脱炭素社会の実現に向けた 取り組みに補助金を交付することで、 ゼロカーボンの推進及び町民の生活空 間の維持・向上を図ることを目的とす る。 【内容】 上記目的を達成するため、対象となる 取り組みに補助金を交付する。 (交付要綱第 4 条第 1 項第二号) 生活空間の維持・向上のための事業 【完了期日】 令和 6 年 3 月 31 日 【経費】 補助金 28,409 千円
大熊町大野 駅西商業施 設等整備事 業	大熊町	1,724,812	1,724,812	0	0	1,724,812	1,724,812	中間貯蔵施設の 整備等による影 響を緩和するた め、「特定復興再	商業施設や広 場の整備に向 けた業務を円 滑に遂行でき	【目的】 大野駅前に商業施設や広場を整備する ことで、町民の生活に必要な買い物環 境や憩いの場を整えることにより生活

								<p>生拠点復興再生計画」に掲げる「大野駅前の賑わい」創出を目指す商業施設や広場を整備することで、町民の生活に必要な買い物環境や憩いの場を整えることにより生活再建を図るとともに、町内に人の流れを生み出し経済活動を活性化することにより地域振興を図る。</p>	<p>ていることから、目標を概ね達成したと認められる。</p>	<p>再建を図るとともに、町内に人の流れを生み出し経済活動を活性化することにより地域振興を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 上記目的を達成するため、令和5年度から令和6年度にかけて大野駅西に商業施設及び広場を整備する。</p> <p>(交付要綱第4条第1項第九号)</p> <p>前8号に掲げるもののほか、中間貯蔵施設等の建設等に伴う影響を緩和するために必要な生活再建及び地域振興等に係る事業</p> <p>【完了期日】 令和6年3月14日 (繰越分については令和7年2月28日完了予定)</p> <p>【経費】 発注者支援 35,244千円 基本・実施設計 90,310千円 工事 1,589,682千円 (全額繰越) 工事監理 9,576千円 (全額繰越)</p>
大熊町町民	大熊町	22,000	22,000	0	0	22,000	22,000	中間貯蔵施設の	町民交流イベ	【目的】

<p>交流イベント実施事業</p>								<p>整備等による影響を緩和するため、町民に思い入れのある大熊インキュベーションセンター（旧大野小学校）において交流イベントを実施することで、町民のふるさととの結びつきの維持を図る。</p>	<p>ント実施にあたり、委託先との連携を密にし、円滑に業務を遂行することができたこと、当日は1,500名超が来場し盛況であったことから、目標を概ね達成したと認められる。</p>	<p>町民に思い入れのある大熊インキュベーションセンター（旧大野小学校）において交流イベントを実施することで、町民のふるさととの結びつきの維持を図ることを目的とする。</p> <p>【内容】 上記目的を達成するため、大熊インキュベーションセンターにおいて町民交流イベントを実施する。 (交付要綱第4条第1項第一号) ふるさととの結びつきを維持するための事業</p> <p>【完了期日】 令和6年3月31日</p> <p>【経費】 業務委託費 22,000千円</p>
-------------------	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--

令和5年度中間貯蔵施設整備等影響緩和交付金基金事業計画書

※令和4年度からの繰越事業

(基金事業の結果)

事業名	事業実施主体	事業経費（千円）						目標	目標達成度・評価	事業結果 (事業の目的・内容・完了期日、 経費の使用方法・内訳を含む。)
		基金充当費		単独経費		合計				
		予算	決算	予算	決算	予算	決算			
大川原地区公共施設再生可能エネルギー設備整備事業	大熊町	276,540	276,540	0	0	276,540	276,540	中間貯蔵施設の整備等による影響を緩和するため、生活空間の維持・向上のための事業として、公共施設に再生可能エネルギー設備を整備する。	再生可能エネルギー設備の整備に向けた業務を円滑に遂行できていることから、目標を概ね達成したと認められる。	<p>【目的】 大熊町内の公共施設に再生可能エネルギー設備を整備することで、町内における省エネを推進し、町が推進するゼロカーボンに資することを目的とする。</p> <p>【内容】 上記目的を達成するため、令和4年度から令和5年度にかけて再生可能エネルギー設備を整備する。</p> <p>【完了期日】 令和5年12月25日</p> <p>【経費】 工事費 275,000千円 工事監理費 1,540千円</p>

※事業経費の276,540千円は、令和4年度中に一般会計に繰り入れ後、翌年度へ繰越したものの。